

指定管理者評価シート

事業名	ジャンプ競技場等運営管理	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
-----	--------------	-----------	-------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市大倉山ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森
開設時期	昭和45年12月(平成11年12月改修)	延床面積	8658.19㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ラーズヒルジャンプ台、運営本部棟、ミュージアム棟、スタートハウス棟、エスカレーター棟、審判棟		
名称	札幌市宮の森ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森1条18丁目
開設時期	昭和45年12月(平成17年改修)	延床面積	664.31㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ノーマルヒルジャンプ台、特殊索道、運営本部		
名称	札幌市荒井山シャンツェ	所在地	中央区宮の森
開設時期	平成15年11月	延床面積	254.78㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深めるとともに、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ミディウムヒルジャンプ台、スモールヒルジャンプ台、スロープカー、ロッジ、審判棟、スロープカー車庫		
名称	札幌オリンピックミュージアム	所在地	中央区宮の森
開設時期	平成12年4月	延床面積	5034.43㎡
目的	オリンピック及びパラリンピックの歴史と価値並びに冬季オリンピック開催都市としての栄誉と功績を後世に継承するとともに、広くウィンタースポーツに関する興味と理解を深める機会を提供し、もってオリンピック及びパラリンピックの理念を広く伝えるとともに、ウィンタースポーツの普及振興に寄与する		
事業概要	(1)オリンピック及びパラリンピック、冬季オリンピック札幌大会等本市で開催されたウィンタースポーツの国際大会並びにウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (2)オリンピック及びパラリンピック並びにウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (3)ウィンタースポーツの疑似体験装置の展示 (4)その他ミュージアムの設置目的を達成するために必要な事業		
主要施設	展示ゾーン、体感・体験ゾーン、競技情報ゾーン、ウィンタースポーツシアター、多目的ホール、ライブラリー		

2 指定管理者	
名称	株式会社 札幌振興公社
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
募集方法	非公募
指定単位	施設数: 4 複数施設を一括指定の場合、その理由: ジャンプ場は競技ランク(ラージ、ノーマルなど)別に整備しているが、利用調整などは一体で行う必要がある。また、ミュージアムについては大倉山再整備計画により建設された関連施設であり、利用のされ方なども一体不可分の要素が高い。
業務の範囲	【ジャンプ競技場】 (1)施設の維持及び管理 (2)施設を使用に供すること (3)ジャンプ場条例第1条に規定する設置の目的を達成するために必要な事業 (4)使用承認等に関すること (5)大型映像車の運行に関すること (6)上記各業務に付随する業務 【ミュージアム】 (1)施設の維持及び管理 (2)ミュージアム条例第2条各号に掲げる事業の計画及び実施 (3)ミュージアム条例第13条に掲げる資料の貸出し (4)使用承認等に関すること (5)上記各業務に付随する業務
3 評価単位	施設数: 4 複数施設を一括評価の場合、その理由: 同一の管理主体が管理を行っており、ひとつの基準で管理を行っているため

II 令和6年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価																							
1 業務の要求水準達成度																										
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 札幌市ジャンプ競技場等の設置目的、目指す成果を踏まえ、また平成18年から10年を超える指定管理者としての経験を活かし、管理運営業務に関する基本方針を策定した。	管理方針に基づき、ジャンプ競技への関心及び競技力の向上やウィンタースポーツの普及と振興に努めた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">管理運営方針に基づき業務を適正に遂行している。水使用量については来場者の増加により微増となっているが、ガソリン・軽油を除くその他の使用料については昨年度と比較しほぼ横ばい(一昨年度と比較すると減)となっており、環境配慮の推進に継続して取り組んでいる。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">計画に基づいた人員配置を行っており、研修等を実施することでサービス水準の維持向上に努めている。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	管理運営方針に基づき業務を適正に遂行している。水使用量については来場者の増加により微増となっているが、ガソリン・軽油を除くその他の使用料については昨年度と比較しほぼ横ばい(一昨年度と比較すると減)となっており、環境配慮の推進に継続して取り組んでいる。				計画に基づいた人員配置を行っており、研修等を実施することでサービス水準の維持向上に努めている。														
	A			B	C	D																				
	管理運営方針に基づき業務を適正に遂行している。水使用量については来場者の増加により微増となっているが、ガソリン・軽油を除くその他の使用料については昨年度と比較しほぼ横ばい(一昨年度と比較すると減)となっており、環境配慮の推進に継続して取り組んでいる。																									
	計画に基づいた人員配置を行っており、研修等を実施することでサービス水準の維持向上に努めている。																									
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 仕様書に基づき施設等の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行した。																									
	▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 平成19年5月にHES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)を認証し、当社で管理する施設や様々なサービス等から発生する環境に関わる影響を低減するため継続して環境改善活動に取り組んでいる。	水使用量については、来場者の増加により、トイレの利用が増えたことなどから微増となった。燃料については、R6年度は人工降雪機用の給油を行わなくても足りたため大幅減となった。次年度は給油予定である。電気及び事務用紙使用量は昨年と横ばいとなった。今後も目標達成に向け各社員が環境への配慮を意識して取り組む継続して取り組み削減に努めていきたい。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">R5実績</th> <th rowspan="2">R6実績</th> <th>前年対比</th> </tr> <tr> <th>削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気使用量の削減</td> <td>1,172,028</td> <td>1,180,345</td> <td>100.7%</td> </tr> <tr> <td>水使用量の削減</td> <td>16,571</td> <td>17,492</td> <td>105.6%</td> </tr> <tr> <td>ガソリン・軽油使用量の削減</td> <td>5,411</td> <td>2,620</td> <td>48.4%</td> </tr> <tr> <td>事務用紙使用量の削減</td> <td>107,500</td> <td>110,000</td> <td>102.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.3%</td> </tr> </tbody> </table>	項目		R5実績	R6実績	前年対比	削減率	電気使用量の削減	1,172,028	1,180,345	100.7%	水使用量の削減	16,571	17,492	105.6%	ガソリン・軽油使用量の削減	5,411	2,620	48.4%	事務用紙使用量の削減	107,500	110,000	102.3%				2.3%
項目					R5実績	R6実績	前年対比																			
	削減率																									
電気使用量の削減	1,172,028		1,180,345	100.7%																						
水使用量の削減	16,571		17,492	105.6%																						
ガソリン・軽油使用量の削減	5,411	2,620	48.4%																							
事務用紙使用量の削減	107,500	110,000	102.3%																							
			2.3%																							
▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成) 統括責任者を事業部長と定め、管理運営業務を統括し業務の適正・効率化を図った。計画書に基づいた人員配置に努め、欠員が生じた場合は新規採用により人員を確保した。教育・研修計画に基づき研修等を実施した。AED取扱いを含めた普通救命講習を実施し救急事態での対応に備えた。	計画に沿った組織体制を整えられるよう、欠員等が生じた場合は人事異動や新規採用により適正な社員配置に努めた。また、法令を遵守しよりよい雇用環境を確保した。																									
▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 職場ミーティングを適宜行い、業務の問題点や改善・サービスの向上等について意識の統一や情報の共有に努めた。	今後も社員全員で更なるサービス向上を目指し、ミーティング等の中で問題の改善に努めていきたい。																									
▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認) 軽微なものを除き計画に基づき適正な業務委託を行った。また、委託先への適切な指示、連絡等により、仕様書に基づいて適正かつ確実に業務が遂行された。	業務計画に沿って適正な再委託を行った。																									

<p>▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整等(運営協議会等の開催)</p> <p>荒井山ジャンプ利用者連絡協議会</p> <table border="1" data-bbox="368 286 995 557"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>協議・報告内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/25</td> <td>令和6年度の活動計画 要望事項</td> </tr> </tbody> </table> <p><協議会メンバー> 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、 札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者</p> <p>札幌市ジャンプ競技場等運営協議会</p> <table border="1" data-bbox="368 647 995 1055"> <tbody> <tr> <td>4/25</td> <td>第1回</td> <td>議題:1月～3月までの業務報告等 (施設利用状況等について)</td> </tr> <tr> <td>7/25</td> <td>第2回</td> <td>議題:4月～6月までの業務報告等 (施設利用状況等について)</td> </tr> <tr> <td>10/31</td> <td>第3回</td> <td>議題:7月～9月までの業務報告等 (施設利用状況等について)</td> </tr> <tr> <td>2/6</td> <td>第4回</td> <td>議題:10月～12月までの業務報告等 (施設利用状況等について) ミュージアム館内新展示コーナー 「ウィンタースポーツの街・札幌の発展」の視察</td> </tr> </tbody> </table> <p><協議会メンバー> 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、地元自治会長他 有識者数名、大倉山事業部担当者</p>	開催日	協議・報告内容	4/25	令和6年度の活動計画 要望事項	4/25	第1回	議題:1月～3月までの業務報告等 (施設利用状況等について)	7/25	第2回	議題:4月～6月までの業務報告等 (施設利用状況等について)	10/31	第3回	議題:7月～9月までの業務報告等 (施設利用状況等について)	2/6	第4回	議題:10月～12月までの業務報告等 (施設利用状況等について) ミュージアム館内新展示コーナー 「ウィンタースポーツの街・札幌の発展」の視察	<p>協議会開催計画に基づき行い、情報の共有や問題の改善に積極的に取り組んだ。次年度以降も関係機関と連携を図り、円滑な運営に努めていきたい。</p>	<p>札幌市や関係団体との協議を定期的に実施し、問題点の共有、改善に向けて努力している。特に、利用者の代表となる競技団体との調整は重要であるが、適切に対応を行っている。</p>
開催日	協議・報告内容																	
4/25	令和6年度の活動計画 要望事項																	
4/25	第1回	議題:1月～3月までの業務報告等 (施設利用状況等について)																
7/25	第2回	議題:4月～6月までの業務報告等 (施設利用状況等について)																
10/31	第3回	議題:7月～9月までの業務報告等 (施設利用状況等について)																
2/6	第4回	議題:10月～12月までの業務報告等 (施設利用状況等について) ミュージアム館内新展示コーナー 「ウィンタースポーツの街・札幌の発展」の視察																
<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>指定管理業務と他事業の経費を明確に区別し、社内外からの監査を受け適正に管理している。 現金管理責任者を定め管理チャートに基づいた、取扱い・保管を行い、適正に現金・金券等を管理している。</p>	<p>適正かつ明確な資金や現金管理の徹底に努めた。</p>																	
<p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>利用者、その他市民からの意見、要望を受けた場合は誠意をもって対応している。 指定管理業務と関わりのない市政に関する要望等については、札幌市へ速やかに報告している。</p>	<p>お客様からの意見・要望については、可能な限り対応しサービス向上に反映した。</p>	<p>要望等については、来場者のアンケートのみならず、連絡調整会議等の機会において競技利用者の声を聴取し、できる限りの対応を行っている。</p>																
<p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>アンケートの結果を受けて、意見や要望を検証し、管理運営の改善に反映させている。 ジャンプ競技関係先からの要望や意見を受けて、対応するように努めた。 札幌市の検査依頼、報告事項等については、速やかに対応した。</p>	<p>過年度の事象の実施状況や経緯・経過を分析・検証するなどして、的確・迅速な対応に努めた。</p>																	

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>就業規則、勤務時間を順守し、時間外労働にあたっては36協定での取決めを定め届出をした。 雇用にあたっては社会保険、労働保険への加入を行い必要に応じ届出をした。 全ての社員に対し1年に1回の定期健康診断の受診を実施した。 なお、労働基準監督署からの指導等は受けていない。</p>	適切な労務管理に努めた。	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めている。			
A	B	C	D								
法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めている。											
(3)施設・設備等の維持管理業務	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>利用者の安全確保については、施設の巡回警備による安全確認や職員の巡回により危険箇所の早期発見に努めた。 施設賠償保険の他、各種イベント時は参加者等の万が一の怪我、事故に備え別途傷害保険に加入している。 また、事故や急病人の発生に備えて、各施設(4施設)に設置したAEDの点検等を行った。AED講習は緊急時に迅速に対応できるよう、R6年度も大倉山所属の各セクションの従業員が受講した。 平成17年6月に定めた「個人情報の保護に関する方針」に基づき、細心の注意を払って、保有する個人情報の保護に努めた。 拾得物等の取扱いについては、適正に対処した。 連絡体制の確保については、各施設へ必要な連絡先を掲示した。 また、緊急時連絡先を事業部内に掲示し緊急時に備えた。</p>	計画に沿った管理運営の中で、利用者の安全確保や個人情報の保護など、安全・安心な施設運営体制を構築していきたい。	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">計画に沿った適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策については、緊急時に備えた体制を構築し、災害等を想定した訓練を適切に行っている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	計画に沿った適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策については、緊急時に備えた体制を構築し、災害等を想定した訓練を適切に行っている。			
	A	B		C	D						
	計画に沿った適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策については、緊急時に備えた体制を構築し、災害等を想定した訓練を適切に行っている。										
<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>施設及び設備の全般の機能を良好に維持するため、札幌市ジャンプ競技場等管理運営業務仕様書に基づいて作成した業務計画書のとおり適切に業務を遂行した。 なお、軽微なものを除いた特殊性のある業務については再委託計画に基づき業務委託した。 ※委託業務の内容については、別紙1のとおり</p>	業務計画書に沿った適正な施設・設備の維持管理に努めた。次年度以降も継続して関係各所と連携の下、業務を遂行していきたい。										
<p>▽ 防災</p> <p>防災計画を策定し、計画に基づいた消火、避難誘導訓練を消防設備関連業者指導の下実施した。(11月・3月) 災害や機械故障を想定し、索道救助訓練を実施した。(4月)</p>	今後も防災計画に基づき安全・危機管理対策に努めていきたい。また、社員の更なる防災意識を高めるような訓練を実施していきたい。										

<p>(4) 事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ オリンピックパラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興、調査研究に関する業務</p> <p>① 自主研修の場の提供(276校来場) ② 教育普及活動(企画展示3回、イベント7回) ③ 実習の受入れ(1校) 東北芸術工科大学 4年生 1名 ④ 常設展示 2階東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会常設展示に東京2020オリンピック観覧チケットを追加、2階特別展示室宮様スキー大会優勝者名簿を更新、2階パラリンピックコーナーのチェアスキーのギア展示から狩野亮選手使用のチェアスキーに更新、2階札幌オリンピックレガシーコーナー・パラダイスヒュッテ出口に新展示コーナー「ウィンタースポーツの街・札幌の発展」を増設。 ⑤ 校外学習(小学校66校、中学校9校、高等学校0校、大学4校、特別支援学校関係1校を実施) ⑥ オリンピック・パラリンピック教育 札幌市教育委員会のオリ・パラ教育推進事業の研究校に指定された63校(昨年度63校)を対象に実施した。実施にあたっては、ミュージアムの学芸員を中心に阿部館長や北海道オールオリンピックズから派遣されたオリンピック・パラリンピアンと連携し、競技種別ごとの特長等を活かした講義となるよう調整を行うほか、学芸員の説明によるジャンプ台及び館内案内、シミュレーター体験を通して、限られた時間の中で大会やウィンタースポーツの意義や魅力を最大限伝えるよう努めた。 また、各学校とは児童の学年や地域等によって授業内容を事前に教諭と調整し、児童の興味を湧かせながらより理解を深める授業になるよう努めた。 ⑦ 収蔵品データベース化 展示物・収蔵品の調査データを77件追加登録。(現在15,058件を登録) ⑧ 収蔵品の収集・調査・研究・展示 ・冬季オリンピック札幌大会関連資料の収集および調査・研究・展示 ・寄贈された資料の調査研究(澁谷弘子氏、中川肇氏等) ・オリンピック・パラリンピアンの用具収集・展示(荒井理氏、永瀬充氏ほか) ⑨ 館内イベント 1894年6月23日のIOC創立を記念して世界中で行われる「オリンピック・デー」イベントとして、ジュニア・ユース世代のアスリートの育成を目的としたケガ予防の基礎知識と体作りの効果的な実践法を学ぶ講習会を実施した。 ⑩ OMN総会出席 2月にOMN総会がアメリカ・コロラド州で開催され、OMNメンバーであり専門的な観点から館長と学芸員(係長)が出席し、当館の現状と情報交換を行った。 ⑪ 第47回JOAセッションへの参加 今回のセッションは対面並びにオンラインを含めたハイブリット形式で「パリオリンピック・パラリンピックを振り返る～東京2020大会レガシーから見たパリ2024大会～」をテーマに開催された。東京2020大会を振り返りつつ、パリ2024大会の特徴的な取り組みに注目し、オリンピック・パラリンピックが社会にどのような影響を与えるのかを考察し、多様な視点から議論を深めた。 ※調査研究に関する内容については、別紙2のとおり</p>	<p>R6年度は、概ね業務計画に沿った活動を行うことができた。以下、主な業務の自己評価を記載する。 ②については、特別展示等を8月・10～1月・3月の3回実施し、来館者の満足度の向上を図った。 また、継続して実施しているゴールデンウィークイベントやノルディックウォーキングイベントは例年に引き続き盛況であった。 札幌市との連携事業として、地下歩行空間でのパリ2024大会を盛り上げるイベントへの展示協力を行い、市民のウィンタースポーツ及びパラスポーツに対する意識の向上、普及や地域貢献に寄与し、ミュージアムを広く周知することに繋がった。 ⑥については、H29年度から継続しているオリパラ教育は天候の影響や学校事情等による日程変更に対応し、希望する学校に対して概ね計画どおり実施することができ、63校が当該事業に参加した。昨年度に引き続き札幌市・札幌市から委託を受けた北海道オールオリンピックズ・当館の3者で2カ月に1回程度オリパラ連絡協議会を開催し、情報共有を行い、迅速な課題解決ができたことにより、より充実した事業運営となった。この取り組みは次年度も継続する予定である。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へオリンピックの理念を伝えたいほか、令和2年から設置している北海道オール・オリンピックズの拠点を活かし、来館者とオリンピック・パラリンピアンが交流できる体制を整えている。 また、ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。 オリパラ教育では、授業内容を最適化するため、講師や学校と事前に調整を行い、学習効果が向上するような工夫に努めている。 このほか、OMN総会及びワークショップに参加し、海外のミュージアムにも活動内容を伝え、評価を得ている。 今後もオリパラ教育の拡大や収蔵品の調査・研究等、更なるオリンピック・パラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興事業の実施に期待する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へオリンピックの理念を伝えたいほか、令和2年から設置している北海道オール・オリンピックズの拠点を活かし、来館者とオリンピック・パラリンピアンが交流できる体制を整えている。 また、ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。 オリパラ教育では、授業内容を最適化するため、講師や学校と事前に調整を行い、学習効果が向上するような工夫に努めている。 このほか、OMN総会及びワークショップに参加し、海外のミュージアムにも活動内容を伝え、評価を得ている。 今後もオリパラ教育の拡大や収蔵品の調査・研究等、更なるオリンピック・パラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興事業の実施に期待する。</p>			
A	B	C	D								
<p>札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へオリンピックの理念を伝えたいほか、令和2年から設置している北海道オール・オリンピックズの拠点を活かし、来館者とオリンピック・パラリンピアンが交流できる体制を整えている。 また、ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。 オリパラ教育では、授業内容を最適化するため、講師や学校と事前に調整を行い、学習効果が向上するような工夫に努めている。 このほか、OMN総会及びワークショップに参加し、海外のミュージアムにも活動内容を伝え、評価を得ている。 今後もオリパラ教育の拡大や収蔵品の調査・研究等、更なるオリンピック・パラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興事業の実施に期待する。</p>											

(5) 施設利用に関する業務

区分	R5決算	R6計画	R6決算
大倉山ジャンプ競技場			
競技利用者	1,155	1,200	1,291
競技利用回数	49	43	79
大会・公式	21	21	23
その他催物	5	5	6
本部棟会議室	43	42	40
エントランス広場	0	0	1
テレビ中継装置	11	11	11
来場者	296,749	349,263	301,127
宮の森ジャンプ競技場			
競技利用者	2,713	2,700	2,276
競技利用回数	152	138	138
大会・公式	8	10	8
来場者	11,260	11,000	10,588
荒井山シャンツェ			
競技利用者	1,886	1,900	2,261
オリンピックミュージアム			
有料観覧者	83,626	98,654	86,674
無料観覧者	31,241	31,241	31,080
観覧者合計	114,867	129,895	117,754
多目的ホール	0	0	0
大型映像車			
利用回数	25	24	23

▽ 不承認0件、取消し0件、減免32件、還付0件

施設の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行した。
また、施設利用の申し込み者が重複した場合の平等性を保つための調整会議メンバーを定めた。
※ジャンプ競技場等の利用状況等については、別紙3のとおり

▽ 利用促進の取組

イベント・会議・展示会場として競技場施設やミュージアム、大型映像車の利用についてHP掲載や地域町内会等への案内等を行った。
自主事業として6月～10月の毎週金・土・日曜日はジャンプ練習での使用におけるジャンプ台使用料を無料とし、競技利用者(選手)のトレーニング促進に努めた。

コロナが5類に移行したR5年度以降、来場者は微増しているものの、コロナ以前の来場者数とは依然大きな隔りがあるため、引き続きPRを行うことで来場者増加に繋がっていきたい。
ジャンプ台利用のうち大倉山利用分については、減免分の利用回数(13回)も含むが、計画よりも利用回数が増えた。宮の森については、前年度より減ったが、計画通りの利用回数となった。ミュージアム利用者はほぼ横ばいとなっている。

A	B	C	D
大倉山及び宮の森の競技利用回数、荒井山の競技利用者数については、いずれも計画以上の実績となっており、競技団体の要望に応え、体制を充実させて対応し、高い評価を得ている。大倉山の来場者数及びミュージアムの観覧者数については、令和5年度よりは増加しているものの、計画を下回る結果となり、コロナ禍前の状況までは回復できていない。引き続きPRを行い、来場者数の増加が図られることを期待する。			

<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントやジャンプ大会に関する情報をHPに掲載することに加え、SNS(X、Instagram)で情報を発信することでより広く周知することができた。 ・市内観光施設、ホテル等へのパンフレット設置やポスターの掲示を依頼し、イベント開催時には大倉山周辺の町内会や店舗にチラシの配布等を行い、施設PRと利用促進に努めた。 ・広告宣伝については、夜間営業時に札幌市近郊住民向けにWEB・SNS広告を行い、リフトの夜間営業および施設の認知向上と誘客を行った。さらに、ジャンプ競技場展望台へ設置しているお天気カメラを用いて、テレビ番組内にて2か月間、週1回の運動告知を行い、認知向上につなげた。 ・HPについては、大倉山ジャンプ競技場での体験価値を伝える内容を追加し、観光地としての魅力を掲載した。 ・場内の入口2カ所にデジタルサイネージを設置し、運行情報や施設の紹介、イベント・ジャンプ大会に関する情報をタイムリーに発信し、施設の利用促進に努めた。 ・SNSについては、夜間営業時間限定でフォローすると夜景クッキーまたは小人リフト無料キャンペーンを実施し、競技場への誘致且つ顧客満足度向上につなげた。 <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>前回から継続指定のため、引継ぎ業務はなし。</p>	<p>HPに加えてデジタルサイネージやSNSでも運行情報を発信することで利便性を高めることができた。また、SNS上でタイムリーな情報発信を行うことでフォロワー数や閲覧数を増やすことができた。今後は国内向けのPRのほか、インバウンド向けのPRも行い、また引き続きホテルや周辺町内会にも施設PRを行っていききたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>ホームページは単なる施設案内にとどまらず、札幌市を代表する観光施設としての魅力を掲載しているほか、オリパラ教育の予習復習にも活用できる内容として整備されている。また、SNSを有効活用し、タイムリーな情報発信やフォロワー数増加の取組を実施するほか、テレビ局と連携した展望台からの眺望のライブ配信など、施設のPRや利用促進に資する広報活動を積極的に行っており、大変評価できる。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>ホームページは単なる施設案内にとどまらず、札幌市を代表する観光施設としての魅力を掲載しているほか、オリパラ教育の予習復習にも活用できる内容として整備されている。また、SNSを有効活用し、タイムリーな情報発信やフォロワー数増加の取組を実施するほか、テレビ局と連携した展望台からの眺望のライブ配信など、施設のPRや利用促進に資する広報活動を積極的に行っており、大変評価できる。</p>			
A	B	C	D								
<p>ホームページは単なる施設案内にとどまらず、札幌市を代表する観光施設としての魅力を掲載しているほか、オリパラ教育の予習復習にも活用できる内容として整備されている。また、SNSを有効活用し、タイムリーな情報発信やフォロワー数増加の取組を実施するほか、テレビ局と連携した展望台からの眺望のライブ配信など、施設のPRや利用促進に資する広報活動を積極的に行っており、大変評価できる。</p>											
<p>2 自主事業その他</p>											
<p>▽ 自主事業</p> <p>ジャンプ競技場、ミュージアムの活用</p> <p>○展望台リフト特別夜間営業の継続実施</p> <p>日本新三大夜景及び日本夜景遺産に選ばれた大倉山からの夜景を楽しんでもらうべく、夏期営業期間における夜間営業(20:30まで)を今年度も実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間:令和6年7月1日(火)～令和6年9月30日(火) ・利用者数:7,018名(期間合計) <p>○ピックラ!! スポフェス in 大倉山</p> <p>野球・サッカー・バスケットボールなどの各種体験教室など様々なスポーツの体験イベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間:令和6年10月13日(日)・14日(月・祝)数:3,168人 <p>○大倉山冬花火</p> <p>音楽と連動して冬空に幻想的なエンターテインメントを繰り広げるイベント。R6年度、クイズ大会や大倉山冬花火ラジオでのお客様からのリクエスト曲の放送、企画当選者の発表など昨年度よりさらに盛り上がる演出を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間:令和6年12月7日(土) ・来場者数:1,761人 <p>※その他集客イベント等に係る内容については、別紙4のとおり</p>	<p>スポフェスは2日間に短縮したが、1日の来場者数は昨年を上回る結果となった。昨年度から実施している大倉山冬花火は、さらなる演出を行い、来場者数は昨年度比50%増となった。今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かしたイベント等の自主事業を実施していきたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>展望台リフトの夜間営業を引き続き実施するとともに、スポーツ体験イベントやスポーツパフォーマンス向上講習会を実施し、施設のPRやスポーツの普及振興に努めたものと評価できる。今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かした自主事業を実施することに期待する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>展望台リフトの夜間営業を引き続き実施するとともに、スポーツ体験イベントやスポーツパフォーマンス向上講習会を実施し、施設のPRやスポーツの普及振興に努めたものと評価できる。今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かした自主事業を実施することに期待する。</p>				
A	B	C	D								
<p>展望台リフトの夜間営業を引き続き実施するとともに、スポーツ体験イベントやスポーツパフォーマンス向上講習会を実施し、施設のPRやスポーツの普及振興に努めたものと評価できる。今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かした自主事業を実施することに期待する。</p>											
<p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>再委託、物品の購入等については、市内の企業を原則として活用した。</p> <p>また、警備係員として障がい者1名を雇用している。</p>	<p>特殊性等を考慮しながら、可能な範囲で市内企業の活用に努めた。</p>										

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	<p>通年で山頂展望ラウンジとミュージアム1階・2階にアンケート用紙を設置し、利用者が任意で記入したものを回収。</p> <p>回答者数：672名（展望ラウンジ / 488名 ミュージアム / 184名）</p>
結果概要	<p>[年齢] 10代(10歳未満含む)：304名、20～30代：137名、40～50代：129名、60代以上：69名、無回答33名</p> <p>[来場回数] 初めて：524名、2回：71名、3～5回：46名、6回以上：27名、不明・無記入：47名</p> <p>[地域] 市内：162名、道内：61名、道外：384名、海外：19名、不明・無記入：46名</p> <p>[接客] 大変良い：389名、良い：167名、ふつう：83名、やや悪い：5名、悪い：6名、無記入22名</p> <p>接客満足度97%</p> <p>$[(\text{大変良い}389 + \text{良い}167) \div (\text{全体}672 - \text{ふつう}83 - \text{無記入}22)] = 0.98$</p> <p>[施設を知ったきっかけ] テレビ・ラジオ等：54名、新聞・観光誌：94名 紹介：148名、インターネット：139名、旅行会社：42名、その他195名</p> <p>[次回の来場] 是非利用したい：318名、機会があれば：278名 利用しない：24名、無記入：52名</p> <p>[総合満足度] 大満足：347名、満足：184名、ふつう：83名 やや不満：11名、不満：6名、無記入41件</p> <p>総合満足度97%</p> <p>$[(\text{大満足}347 + \text{満足}184) \div (\text{全体}672 - \text{ふつう}83 - \text{無記入}41)] = 0.97$</p>
利用者からの意見・要望とその対応	<p>[要望] 展望台の電気の子カチカ(きれかかっている)なんとかして下さい</p> <p>[対応] 調査・調整を行った。</p> <p>[その他意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接客態度が良かった。 ・市民だけど初めて来て楽しめた。 ・観光の人にもわかりやすく、英語で書いておりとても良いと思う。 ・展望台の椅子をもう少し増やしてほしい。 ・ミュージアム館内で飲水できる場所が欲しい。 ・スキージャンプのスタート地点目線がわかる展望台が欲しい。

利用者からの意見等は全体で共有し、利用者のニーズの把握及び改善に努めた。今後も引き続き利用者からの意見を検証反映し、より良い施設運営を目指す。

A	B	C	D
接客満足度、総合満足度ともに非常に高い水準であり、利用者への丁寧な対応の結果と評価できる。			

4 収支状況

▽ 収支

(千円・税抜)			
項目	R6計画	R6決算	差
収入	313,747	327,883	14,136
指定管理業務収入	262,768	257,291	▲ 5,477
指定管理費	187,811	189,200	1,389
利用料金	65,567	58,512	▲ 7,055
その他	9,390	9,579	189
自主事業収入	50,979	70,592	19,613
支出	328,196	334,088	5,892
指定管理業務支出	272,170	266,969	▲ 5,201
自主事業支出	56,026	67,119	11,093
営業外収入	0	0	0
営業外支出	0	0	0
収入-支出	▲ 14,450	▲ 6,206	8,244
利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	▲ 14,450	▲ 6,206	8,244

収支の説明については左記のとおり。来場者の増加に繋がるよう、魅力ある施設づくりを行いながら、収支の改善に努めていきたい。

A	B	C	D

利用料金収入は計画を下回ったが、ミュージアムショップやカフェの収入が増加したため、自主事業収入は計画を大幅に上回り、赤字幅は改善されている。今後も安定した収入確保及び経費削減に努めることを期待する。

▽ 説明

[収入について]
 ・指定管理収入は、賃金スライド制度等による補填があり増加となった。
 ・利用料金収入は、計画に比べミュージアムの収入が少なく減少となった。
 ・自主事業収入は、グッズショップやカフェの収入が増えたため増加となった。

[支出について]
 ・指定管理業務支出については、計画と比べ消耗品の節約など各費用の削減に努めた結果、減少となった。
 ・自主事業支出については、グッズショップやカフェの収入増に伴い、売上原価が増えたことから、増加となった。

[収支について]
 ・自主事業の収入増もあり、計画に比べて赤字幅は改善されたものの、6,206千円の赤字収支となった。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

引き続き管理運営業務の遂行のため、業務内容の見直し・適正人員の配置や経費節減に努め、安定した維持管理業務を行っている。

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例及びオンブズマン条例への対応

各条例の規則に則り、全てに適切に対応した。情報公開請求並びに、オンブズマン条例への対応はなかった。

適	不適
適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>R6年度の施設利用者数は、前年度より若干増加し、札幌市や地域住民と連携しつつ施設運営をすることができた。</p> <p>ミュージアムについては、概ね計画に沿った活動ができた。ミュージアム内で開催した3回の企画展示は、実施時期や会期に変化を持たせ、その時期ならではの展示を行うことで、当館の知名度の向上及び新たな来館者の獲得を試みた。また、常設展示の更新、地下歩行空間での展示により、来館者にオリンピック・パラリンピック及びウィンタースポーツへの関心と理解を深めていただけの取組ができた。オリンピック・パラリンピック教育に関しては計画どおり実施でき、計63校の学校の受入れを行い、各学校から好評価を受けた。札幌市・北海道オールオリンピアンズ・当館の3者で情報交換及び共有することが迅速な課題解決に繋がった。また、OMN総会及び「JOA(日本オリンピック・アカデミー)セッション」においては、対面開催となり、スポーツミュージアム同士の連携や各大学の教授、研究者、オリンピック関係者等と知識向上のための意見交換を密にし、様々な立場から見たオリンピック・パラリンピックのあり方を踏まえつつ、その価値や魅力を改めて見つめ直したことで、当館の収蔵資料がいかに重要かつ貴重であるかを再認識する契機となった。</p> <p>自主事業については、R6年度もビックラ！！スポフェス in 大倉山・大倉山冬花火等各種イベントを実施し、来場者から好評を得ることができ、冬花火は前年度よりも50%増の来場者数となった。また、夏期は引き続きリフト夜間営業を実施したほか、さらなる認知度の向上及び利用者増をめざし、SNSキャンペーンを実施した。平日は、前年同様の利用者数であったが土日祝の利用者数が増加し、また市民の利用も増加した。札幌の主要な夜景観光施設としての魅力向上や情報発信をすることができた。</p> <p>全体としてコロナ前の状況に戻りつつある中、社会情勢に合わせた対応を行い、ジャンプ競技の普及振興および競技力向上につながる施設づくりと札幌を代表する観光施設としての魅力づくりに努めることができた。</p>	<p>ジャンプ競技場の運営については引き続き札幌スキー連盟や各スポーツ団体と緊密に連携しながら、専門知識と経験を有するスタッフによる整備業務に万全を期し、選手が日々の練習に取り組みやすい環境づくりを心掛けるとともに、常に安全安心な大会運営に寄与し、選手の競技力向上と競技の普及振興に貢献していきたい。</p> <p>ミュージアムについては、日本オリンピックミュージアム、長野オリンピックミュージアムだけでなく他の国内スポーツ関連博物館やオリンピック関連の資料を所蔵する博物館と交流を深め、日本独自のミュージアムネットワークを構築し、情報共有を積極的に行いながら、大規模国際大会誘致のための機運醸成に繋がる教育、研究、イベント等に取り組んでいく。またオリンピック・パラリンピック教育についてはR7年度も引き続き学校の希望に寄り添う事業展開を行うため、オリンピアン・パラリンピアンと良好な関係を構築し、連携を深めることで、授業内容の一層の充実を図りたい。良好な関係の構築は、選手の協力が必要となる当館独自のイベント開催や各種展示会に向けた選手物品収集などにも繋がることから、オリンピック・パラリンピック教育の機会を筆頭として、今後も信頼関係の構築と強化を積極的に行って参りたい。</p> <p>自主事業については4回目の開催となる「スポフェス」、3回目の開催となる「大倉山冬花火」を継続開催し、大倉山の秋・冬の定番イベントとして定着化を図っていききたい。ショップ・カフェについては、施設の満足度向上につながるよう、魅力的な商品展開を行っていききたい。また、来場者数については若干増加で推移しているものの、コロナ以前の人数とは依然大きな隔たりがあることから、短期的な施策としてインバウンド集客に注力するほか、今後のジャンプ台の改修及び当社の昇降設備の更新を見据えた中長期的視点で利用者増加を目指し、ジャンプ競技場としての機能だけでなく、観光施設としてより魅力的な大倉山となるよう札幌市と密に連携を図っていく。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>指定管理者としてのこれまでの実績と経験を活かし、計画に基づいた管理運営業務を行っている。</p> <p>ジャンプ競技場としての運営に関しては、FIS公認のジャンプ台として求められる高い水準での維持管理のほか、NTC競技別強化拠点施設として選手の積極的な受け入れを行うだけでなく、競技団体や利用者からの要望を踏まえた運営を実施するなど、競技力向上と競技人口の拡大に向けた環境整備に尽力したものと評価できる。</p> <p>ミュージアムについては、施設の魅力を伝え、オリンピックミュージアムネットワークの教育ワーキンググループにも参加し、オリンピック・パラリンピック教育に積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、自主事業についても、各種スポーツの体験イベントや展望台リフトの夜間営業を継続して実施するなど、スポーツの普及振興に資する取り組みを行うとともに、札幌の主要な観光施設としての魅力発信を図り、観光資源としての施設活用にも力を入れている。</p> <p>今後においても、施設の設置目的である「ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上」、「オリンピック・パラリンピックの理念を広く伝え、ウィンタースポーツの普及振興に寄与すること」を念頭に施設の管理運営を行うとともに、本市を代表する観光施設として更なる魅力PRに努めていただくよう期待する。</p>	<p>今後も、ジャンプ競技専用施設として、競技団体と密に連携・調整し、ジャンプ競技の普及振興や競技力向上に寄与する管理運営に努めるとともに、札幌市を代表する観光施設として、引き続き魅力アップに繋がるイベント開催や情報発信を積極的に行うなど、利用者・来場者の増加及び利用料金の増収に向け、積極的に取り組んでいただきたい。</p>

再委託業務内容	業務の場所
常駐警備業務(日中・夜間)	大倉山ジャンプ競技場
夜間巡回警備業務	宮の森ジャンプ競技場
機械警備業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
定期清掃	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
硝子定期清掃	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
塵芥収集業務(産廃ごみ)	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
塵芥収集業務(資源ごみ)	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
消防設備点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
設備管理業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
自動ドア点検業務	大倉山ジャンプ競技場
自動ドア点検業務	札幌オリンピックミュージアム
エレベーター点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
エスカレーター点検業務	大倉山ジャンプ競技場
雪張ネット着脱業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ
大型映像車保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
大型映像車運行管理業務	大倉山ジャンプ競技場
スロープカー保守点検業務	荒井山シャンツェ
バイオトイレ保守点検業務	宮の森ジャンプ競技場 (スタートハウス、審判塔)
電光掲示盤保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
ジャンプ台の基本造成整備業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ
クーリングシステム保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
人工降雪機器保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
圧雪車(ブリノート他)保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
除雪車(ホイローダー)保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
除排雪業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
特殊建築物定期報告業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
電気保守業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ
收藏品データシステム保守業務	札幌オリンピックミュージアム
ミュージアム映像保守点検業務	札幌オリンピックミュージアム
ミュージアム展示演出装置保守点検業務	札幌オリンピックミュージアム

令和6年度ミュージアム調査研究事業

1 自主研修の場の提供

令和6年度内に小・中・高等学校・特別支援学校合わせて276校が来館した。
(小学校133校、中学校48校、高等学校64校、特別支援学校28校、高等専門学校等3校)

2 教育普及活動(特別展示会・イベント等)

① バイアスロン体験 in 大倉山	参加人数	212
② 阿部館長によるバックヤードツアー	参加人数	39
③ 2024年度オリンピック・デー記念講習会『ケガをしない体づくり&ケガからの復帰方法を学ぼう!』	参加人数	145
④ パリオリンピック・パラリンピック選手応援ストリート 「TEAM JAPAN SUMMER FEST in SAPPORO OLYMPIC MUSEUM」	観覧人数	24,802
⑤ 山の日こどもワークショップ2024『冬スポーツ×科学』の工作・VR体験	参加人数	178
⑥ 金メダルの輝きと黄金箔展	観覧人数	7,429
⑦ 大倉山・宮の森ジャンプ競技場往復ノルディックウォーキング	参加人数	36
⑧ フランスとオリンピックー130年のあゆみー(2024年度特別展示会)	観覧人数	23,767
⑨ 「フランスとオリンピックー130年のあゆみー」展 開催記念トークショー「札幌オリンピックミュージアムに北口榛花選手がやってくる」(2024年度特別展示会連動企画)	参加人数	50
⑩ スポーツ×アート展	観覧人数	6,074

3 常設展示

・2階東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会常設展示に東京2020オリンピック観覧チケットを追加。
・2階特別展示室宮様スキー大会優勝者名簿を更新。
・2階ミュージアム受付前の北京2022冬季オリンピックミニ展示コーナーの展示ケースに、3階チケットショップにて展示していた大会マスコット人形「ピン・ドゥンドゥン」を移動。
・2階パラリンピックコーナーのチェアスキーのギア展示から狩野亮選手使用のチェアスキーに更新。
・2階札幌オリンピックレガシーコーナー・パラダイスヒュッテ出口に新展示コーナー「ウィンタースポーツの街・札幌の発展」を増設。
・2階オリパラサロンにパリオリンピックTEAM JAPAN 日本オリンピック委員会公式写真集2024(発行:株式会社アフロ)を追加。

4 校外学習

- ① 大学関係・・・4校
(北海道科学大学、北海道教育大学、札幌国際大学、東海大学)
- ② 高等学校関係・・・0校
- ③ 中学校関係・・・9校
(美瑛市立美瑛中学校、札幌市立手稲中学校、北広島市立大曲中学校等)
- ④ 小学校関係・・・66校(オリンピック・パラリンピック教育63校、その他3校)
(オリンピック・パラリンピック教育・・・札幌市立明園小学校、札幌市立あいの里西小学校、札幌市立美しが丘緑小学校等、その他・・・札幌市立二条小学校、音更町立音更小学校、芽室町立芽室小学校)
- ⑤ 特別支援学校関係・・・1校
(福島県立だて支援学校高等部)
- ⑥ 博物館実習・・・1校
(東北芸術工科大学)

5 収蔵品データベース化

展示物・収蔵品の調査データを登録中(令和6年度 77件・93点登録、登録累計 15,058件・総数量40,204点)

6 収蔵品の収集・調査・研究・展示

・冬季オリンピック札幌大会関連資料の収集および調査・研究
・寄贈された資料の調査・研究
(オリンピック・パラリンピアン・・・荒井理氏、永瀬充氏等
一般の方・・・澁谷弘子氏、中川肇氏、竹田みすず氏等
関連団体・・・(公財)日本バスケットボール協会、(公財)日本オリンピック委員会、定山溪郷土資料館等)

令和6年度年間行事(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

別紙2

企画名	開催時期	内容	備考	開催場所	
1	バイアスロン体験 in 大倉山	5月5日	バイアスロン競技の射撃を、専用のシミュレーターを使用して体験。	協力: 一般社団法人北海道バイアスロン連盟 オリンピック出場経験のある瀧澤明博さん、JOCナショナルチームヘッドコーチである山口繁さんを含む計4名が体験者にレクチャーした。	ミュージアム1階ウィンタースポーツシアター前
2	阿部館長によるバックヤードツアー	5月6日	阿部館長の案内で大倉山ジャンプ競技場のバックヤードを巡りスキージャンプ競技の裏側を知ることができるツアー。	午前、午後各1回ずつの実施。	大倉山展望台リフト、運営本部棟
3	2024年度オリンピック・デー記念講習会『ケガをしない体づくり&ケガからの復帰方法を学ぼう!』	6月23日	IOC創立を祝うイベント。ジュニア・ユース世代のアスリートに起こりうるスポーツ障害に関する専門知識を有する講師2名を招き、スポーツ現場でのアスリートのケガを未然に防ぐための基礎知識と体づくりのために効果的な実践方法を学ぶことができる講習会。	後援: 札幌市、札幌市スポーツ協会 協賛: 味の素株式会社、北海道コカ・コーポロトリング株式会社 会場での対面参加とYouTube視聴のハイブリット形式で開催。	ミュージアム1階ウィンタースポーツシアター、YouTube
4	パリオリンピック・パラリンピック選手応援ストーリー「TEAM JAPAN SUMMER FEST in SAPPORO OLYMPIC MUSEUM」	7月26日～8月11日、8月28日～9月8日	7月から開催されたパリ2024オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツへの興味・関心の盛り上がりを活用し、将来の大規模国際大会の誘致へ繋げるイベントを実施。パリ2024大会とあわせてパリで過去に開催された2つのオリンピックとフランスで開催された第1回冬季オリンピックを紹介する展示のほか、選手等身大パネルや応援メッセージボードの設置、競技体験、オリンピック・パラリンピアンによるトークショー、パブリックビューイングを実施。	共催: 札幌市、札幌オリンピックミュージアム 後援: 公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会 協力: 秩父宮記念スポーツ博物館	札幌駅前通地下歩行空間北2条広場(東・西)(札幌市中央区北2条西4丁目)
5	山の日子どもワークショップ2024『冬スポーツ×科学』の工作・VR体験	8月11日	小学生以上を対象として北海道科学大学の学生が考案した、木製の動くスキージャンパーを作る工作や、様々な冬季スポーツの歴史や道具について体験しながら学ぶことができるVR体験イベント。	協力: 北海道科学大学 学生が講師となってレクチャーした。	ミュージアム1階ウィンタースポーツシアター前、1階特別展示コーナー
6	金メダルの輝きと黄金箔展	8月14日～25日	パリ1900オリンピックから金メダルの授与が始まったことから、パリ2024オリンピック開催にあわせて、阿部館長が30年前に獲得して今なおその輝きが失われない金メダルとその理由を紹介する展示会。	共催: 札幌オリンピックミュージアム、株式会社アイ・サム	ミュージアム1階特別展示コーナー
7	大倉山・宮の森ジャンプ競技場往復ノルディックウォーキング	10月5日	札幌1972オリンピックの競技会場となった大倉山と宮の森の2つのジャンプ台をノルディックウォーキングで往復。	共催: 札幌オリンピックミュージアム、公益財団法人北海道健康づくり財団 講師: 阿部雅司館長、日本ノルディックウォーキング協会マスタートレーナー卓田由紀江氏	ミュージアム1階ホールに集合・出発。宮の森ジャンプ競技場を経由して大倉山ジャンプ競技場に渡る4kmと6kmの2ルート
8	フランスとオリンピック-130年のあゆみ-	10月12日～翌1月13日	パリ2024オリンピックを含む、フランスで開催された6つのオリンピックを一堂に取り上げ、各大会のユニークな試みと日本代表選手たちの活躍を振り返る特別展示会。大会当時の競技場面やセレモニーの様子を収めた貴重な写真と映像、公式ポスターや記念品、切手資料、選手たちが実際に大会で使用したアイテムなどを展示。	主催: 札幌オリンピックミュージアム 後援: 公益財団法人日本オリンピック委員会、札幌市、札幌市教育委員会 協力: 独立行政法人日本スポーツ振興センター秩父宮記念スポーツ博物館、郵政博物館資料センター、安平町教育委員会	ミュージアム1階ウィンタースポーツシアター前スペース、1階特別展示コーナー
9	「フランスとオリンピック-130年のあゆみ-」展 開催記念トークショー「札幌オリンピックミュージアムに北口榛花選手がやってくる」	10月12日	2024年度特別展示会を盛り上げるオープニングイベントとして、パリ2024オリンピックに道産子選手として出場し、陸上・やり投において金メダルを獲得した北口榛花氏を招いたトークショーを実施。	主催: 札幌オリンピックミュージアム 後援: 公益財団法人日本オリンピック委員会、札幌市	ミュージアム1階ウィンタースポーツシアター、YouTube(JOMのみ限定)
10	スポーツ×アート展	3月4日～31日	各競技種目の草分けとなった、北海道にゆかりのあるアスリート17名の肖像画を展示する。スポーツとアートを融合させた展示会。	主催: 札幌オリンピックミュージアム	ミュージアム1階特別展示コーナー

令和6年度ジャンプ競技場等使用実績
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

別紙3

1 施設別一般来場者数(月別)

(単位:人)

区分	大倉山	宮の森	ミュージアム					
			総人数	大人	高齢者	団体	小中学校	免除
4月	16,488	1,038	6,158	3,794	285	715	1,027	337
5月	27,487	1,035	10,105	6,686	248	697	1,851	623
6月	29,097	1,109	12,958	9,244	311	1,088	1,616	699
7月	31,150	1,054	14,013	8,984	385	493	3,456	695
8月	51,027	1,170	17,515	10,617	464	817	5,045	572
9月	32,099	850	12,762	8,802	341	630	2,303	686
10月	29,954	930	13,316	7,083	332	2,761	2,321	819
11月	17,916	731	7,406	4,503	175	423	1,825	480
12月	17,013	651	6,697	3,139	124	1,088	1,974	372
1月	15,942	574	4,462	2,515	128	501	1,102	216
2月	18,281	687	5,702	3,188	162	1,235	833	284
3月	14,673	759	6,660	4,176	180	360	1,612	332
合計	301,127	10,588	117,754	72,731	3,135	10,808	24,965	6,115

2 札幌オリンピックミュージアム利用料金(使用料)関係

(1) 観覧料 50,713,170 円

(2) 多目的ホール

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
小計			0

(3) ライブラリー

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
小計			0

(4) エントランスホール

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
10月20日	北海道舞踏フェスティバル2024	-	5,460
小計			5,460

(5)シアター

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
5月12日	「氷雪の覇者」鑑賞	-	1,100
5月14日	「氷雪の覇者」鑑賞	-	1,100
6月18日	「氷雪の覇者」鑑賞	-	1,100
7月19日	大空町教育委員会生涯学習課	-	1,100
9月4日	講演利用	-	2,200
9月10日	「氷雪の覇者」鑑賞	-	1,100
9月21日	「氷雪の覇者」鑑賞	-	1,100
9月29日	「氷雪の覇者」鑑賞	-	1,100
10月15日	「氷雪の覇者」鑑賞	-	1,100
10月22日	「氷雪の覇者」鑑賞	-	1,100
10月25日	「氷雪の覇者」鑑賞	-	1,100
12月27日	「オリンピック論」授業のフィールドワーク	-	2,200
1月8日	オリンピック講話受講	-	1,100
2月9日	阿部館長シアターイベント	-	2,200
3月22日	ジュニアアスリート修了式	-	2,200
小計			20,900

札幌オリンピックミュージアム利用料金収入合計

50,739,530

3 大倉山ジャンプ競技場利用料金(使用料)関係

(1)-1ジャンプ競技一般練習日

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
4月	0	28,100	0	10月	7	28,100	196,700
5月	0	28,100	0	11月	0	28,100	0
6月	5	28,100	140,500	12月	0	28,100	0
7月	19	28,100	533,900	1月	9	28,100	252,900
8月	5	28,100	140,500	2月	6	28,100	168,600
9月	13	28,100	365,300	3月	2	28,100	56,200
小計				小計	66		1,854,600

(1)-2 ジャンプ競技一般練習日(自主事業利用分)

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
6月	1	28,100	28,100	9月	1	28,100	28,100
7月	9	28,100	252,900	10月	2	28,100	56,200
8月	2	28,101	56,202	小計	13		365,300

(2)公式練習日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
10月25日	第37回UHB杯ジャンプ大会・第66回NHK杯ジャンプ大会	5割	14,050

1月12日	第67回HBCカップジャンプ競技会	5割	14,050
1月17日	FIS女子ジャンプワールドカップ2025札幌大会	5割	14,050
1月31日	第37回TVh杯ジャンプ大会	5割	14,050
2月8日	第66回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	5割	14,050
2月14日	FISジャンプワールドカップ2025札幌大会	5割	14,050
3月2日	第95回宮様スキー大会国際大会国際競技会ラージヒル	10割	0
3月15日	第25回伊藤杯シーズンファイナル大倉山ナイタージャンプ大会	5割	14,050
小計			98,350

(3)大会日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月3日	第25回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会	10割	0
8月4日	大成建設チャレンジカップ2024大倉山サマージャンプ大会	5割	50,810
10月26日	第37回UHB杯ジャンプ大会	5割	45,850
10月27日	第66回NHK杯ジャンプ大会	5割	45,850
1月12日	第67回HBCカップジャンプ競技会	5割	45,850
1月18日・19日	FIS女子ジャンプワールドカップ2025札幌大会	5割	91,700
1月25日	第52回HTBカップ国際スキージャンプ競技大会 FISジャンプコンチネンタルカップ2025	5割	45,850
1月26日	第64回STVカップ国際スキージャンプ競技大会 FISジャンプコンチネンタルカップ2025	5割	45,850
2月1日	第37回TVh杯ジャンプ大会	5割	45,850
2月9日	第66回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	5割	45,850
2月15日16日	FISジャンプワールドカップ2025札幌大会	5割	91,700
3月3日	第95回宮様スキー大会国際大会国際競技会ラージヒル	10割	0
3月16日	第25回伊藤杯シーズンファイナル大倉山ナイタージャンプ大会	5割	45,850
小計			601,010

(4)-1イベント等

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
5月18日	REDBULL400	—	263,880
8月17日	NTTサマーフォーラム2024	—	216,900
8月19日	CWT M&E for HP Intel Incentive	—	216,900
12月7日	大倉山冬花火2024 supported by 武ダGEAD(自主事業)	10割	0
小計			697,680

(4)-2イベント等 (自主事業利用分)

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
10月13日・14日	ビックラ!!スポフェスin大倉山(自主事業)	10割	0
12月7日	大倉山冬花火2024 supported by 武ダGEAD(自主事業)	10割	0
小計			0

(5)運営本部(会議室)

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
4月14日	東京美装グループスキー部全体ミーティング	-	1,820
4月21日	荒井山町内会総会	-	1,820
5月8日	昼食利用	-	910
5月10日	SAJコーチ会議	-	6,370
5月12日	第一回役員班長会議	-	2,730
5月14日	学校法人東海大学校友会誌「TOKAI」7月号記事撮影	-	910
6月6日	授業利用	-	910
6月16日	マンションの総会	-	2,730
6月17日・18日	ホームページ動画撮影	-	5,460
7月4日	昼食利用	-	910
7月11日	昼食利用	-	910
7月18日	昼食利用	-	910
7月30日	昼食利用	-	910
8月16日	NTTサマーフォーラム2024	-	910
8月19日	昼食利用	-	910
8月29日	昼食利用	-	910
8月30日	昼食利用	-	1,820
9月3日	昼食利用	-	910
9月4日	会議利用	-	1,820
9月11日	昼食利用	-	910
9月11日	昼食利用	-	910
9月11日	校外学習	-	2,730
9月27日	観光Webマガジン撮影	-	910
10月6日	食事と荷物保管	-	3,640
10月19日	昼食利用	-	910
10月20日	役員班長会	-	1,820
10月20日	北海道舞踏フェスティバル2024	-	4,550
11月1日	校外学習	-	910
11月9日	昼食利用	-	910
12月4日	昼食利用	-	910
12月5日	勉強会	-	1,820
12月8日	公認指導者養成講習会開催	-	5,460
12月10日	昼食利用	-	910
12月24日	昼食利用	-	910
1月12日	高梨沙羅メディア取材対応	-	2,730
1月29日	葛西選手取材	-	910
3月4日	葛西紀明選手取材	-	1,820
3月16日	第3回役員班長会	-	1,820
3月18日	ウェディング着替え利用	-	1,820

3月31日	NTC使用分	-	101,010
小計			172,900

(6) 観覧フィールド

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
小計			0

(7) エントランス広場ステージ

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
10月20日	北海道舞踏フェスティバル2024	-	18,000
小計			18,000

(8) テレビ映像中継装置

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
10月25日・26日	第37回UHB杯ジャンプ大会	-	197,000
10月27日	第66回NHK杯ジャンプ大会	-	197,000
1月13日	第67回HBCカップジャンプ競技会	-	197,000
1月18日・19日	FIS女子ジャンプワールドカップ2025札幌大会	-	394,000
1月25日	第52回HTBカップ国際スキージャンプ競技大会 FISジャンプコンチネンタルカップ2025	-	197,000
1月26日	第64回STVカップ国際スキージャンプ競技大会 FISジャンプコンチネンタルカップ2025	-	197,000
2月1日	第37回TVh杯ジャンプ大会	-	197,000
2月9日	第66回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	-	197,000
2月15日16日	FISジャンプワールドカップ2025札幌大会	-	394,000
小計			2,167,000

大倉山ジャンプ競技場利用料金収入合計			5,974,840
--------------------	--	--	-----------

4 宮の森ジャンプ競技場利用料金(使用料)関係

(1)ジャンプ競技一般練習日

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
4月	0	28,100	0	10月	15	28,100	421,500
5月	0	28,100	0	11月	6	28,100	168,600
6月	27	28,100	758,700	12月	4	28,100	112,400
7月	28	28,100	786,800	1月	2	28,100	56,200
8月	23	28,100	646,300	2月	5	28,100	140,500
9月	24	28,100	674,400	3月	4	28,100	112,400
					小計	138	3,877,800

(2)公式練習日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
2月27日	第96回宮様スキー大会国際競技会	10割	0
3月3日	伊藤杯ノルディックコンバインド競技会2025	5割	14,050
小計			14,050

(3)大会日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月2日	第42回札幌市長杯宮の森サマージャンプ大会	10割	0
2月25日	雪印メグミルク カツゲンカップ2025ジャンプ大会	5割	45,850
2月26日	第53回札幌オリンピック記念スキージャンプ競技大会	10割	0
2月28日	第96回宮様スキー大会国際競技会	10割	0
3月1日	第96回宮様スキー大会国際競技会	10割	0
3月4日	伊藤杯ノルディックコンバインド競技会2025	5割	45,850
小計			91,700

(4)イベント等

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
1月6日～9日	ウィンタースポーツ塾	-	168,600
小計			168,600

宮の森ジャンプ競技場利用料金収入合計

4,152,150

5 荒井山シャンツェ利用状況

(1)ジャンプ競技一般練習日

利用月	日数	人数	利用月	日数	人数
4月	3	44	10月	18	210
5月	12	184	11月	3	83
6月	21	311	12月	0	0
7月	18	197	1月	11	167
8月	23	250	2月	8	104
9月	25	651	3月	4	60
			小計	146	2,261

6 撮影利用料金(使用料)関係

(単位:円)

利用日	撮影内容	場所	内容	使用者等	減免割合	利用料金収入
4月19日	テレビ	大倉山	シンガポールテレビ局による日本の旅番組撮影	アレストジャパン	-	15,000
5月7日	テレビ	大倉山	BS Japanext「小田井涼平のあいの旅」	ジャパネット ブロードキャスティング	-	15,000
5月14日	写真	大倉山	東海大学校友会誌「TOKAI」7月号記事	ジェー・シー・シー	-	1,500
5月18日	テレビ	大倉山	REDBULL400	レッドブル・ジャパン	-	26,700
5月18日	テレビ	大倉山	テレビ番組「知るしん」	NHK長野放送局	-	15,000
5月23日	テレビ	大倉山	ホテル創成札幌MギャラリーのSNS撮影	TripClip	-	15,000
5月27日	テレビ	大倉山	YouTube撮影	STARTO ENTERTAINMENT	-	15,000
6月4日	写真	大倉山	自社HP素材撮影	東京美装興業	-	1,500
6月13日	テレビ	大倉山	SNS撮影	札幌市経済観光局	10割	0
6月17日・18日	テレビ	大倉山	自社HP、SNSの素材撮影	雪印メグミルクスキー部	-	30,000
7月17日	写真	大倉山	選手撮影	福井写真	-	1,500
7月26日	テレビ	大倉山	ANA国内線機内専用番組制作	株式会社三興	-	15,000
8月2日	テレビ	宮の森	札幌市プロモーション映像撮映	esquisse合同会社	-	15,000
8月2日	写真	大倉山	札幌市公式Facebook掲載用写真撮映	株式会社ファイネックス	-	1,500
8月20日	テレビ	宮の森	TV番組「夢へチャレンジ」収録	クロステレビジョン	-	15,000
9月2日	テレビ	大倉山	eスポーツ大会PRと大倉山ジャンプ競技場の魅力発信	札幌市	10割	0
9月11日	テレビ	大倉山	「レギュラーの全国あるある探検隊」番組制作	BSよしもと	-	15,000
9月19日	写真	大倉山	webメディア「たびらい」取材	マニユックス	-	1,500
9月27日	写真	大倉山	観光Webマガジン紹介記事作成	Studio Mercato	-	1,500
10月20日	テレビ	大倉山	北海道舞踏フェスティバル2024	北海道テンポラリーダンス普及委員会	-	15,000
10月22日	写真	大倉山	AIRDO機内記事制作に伴う取材	アウラ	-	1,500

10月25日	テレビ	大倉山	日本テレビ この日本代表がすごい！2024	ザ・ワークス	-	15,000
10月26日	テレビ	大倉山	第37回UHB杯ジャンプ大会	北海道文化放送	-	30,000
10月27日	テレビ	大倉山	第66回NHK杯ジャンプ大会	NHK札幌放送局	-	15,000
11月5日	テレビ	大倉山	小林陵侑選手のトレーニング撮影	日本テレビ放送網	-	15,000
11月13日	写真	大倉山	三菱自動車ふそう労連会報誌撮影	ヴィーモ	-	1,500
11月13日	テレビ	大倉山	葛西選手撮影	ミズノ	-	15,000
11月19日	テレビ	大倉山	テレビ番組NOS(オランダ国立テレビ局)	ノーススター・ランゲージサービス	-	15,000
12月2日	テレビ	大倉山	特集「福さんぼ」ロケ撮影	札幌テレビ放送	-	15,000
12月5日	テレビ	大倉山	テレビ番組「TVhジャンプ大会」の撮影	テレビ北海道	-	15,000
12月9日	テレビ	大倉山	ABEMA「今日、好きになりました」	アベマプロダクション	-	15,000
12月16日	テレビ	大倉山	テレビ番組「ジンギス談！」の制作	北海道放送	-	15,000
12月16日	写真	大倉山	「味・旅・遊」企画取材	産経新聞社	-	1,500
1月5日	テレビ	大倉山	TVh杯企画VTR撮影	テレビ北海道	-	15,000
1月9日	写真	大倉山	ラジオ番組をYouTubeで公開する為の撮影	北陸放送	-	1,500
1月11日	テレビ	大倉山	TBSテレビ「バナナマンのせっかくグルメ!!」のオープニング撮影	ゴシック	-	15,000
1月13日	テレビ	大倉山	2025HBCカップジャンプテレビ中継	北海道放送	-	15,000
1月13日・14日	テレビ	大倉山	レッドブルで制作している小林陵侑選手のドキュメンタリーの撮影	レッドブル・ジャパン	-	30,000
1月15日	テレビ	大倉山	小林陵侑選手取材	日本テレビ放送網	-	15,000
1月18日	テレビ	大倉山	FIS女子ジャンプワールドカップ2025札幌大	NHK札幌放送局	-	22,290
1月19日	テレビ	大倉山	FIS女子ジャンプワールドカップ2025札幌大	札幌テレビ放送	-	15,000
1月25日	テレビ	大倉山	第52回HTBカップ国際スキージャンプ競技	北海道テレビ放送	-	17,430
1月26日	テレビ	大倉山	第64回STVカップ国際スキージャンプ競技大会 FISジャンプコンチネンタルカップ2025	札幌テレビ放送	-	15,000

1月31日	テレビ	大倉山	第37回TVh杯ジャンプ大会	テレビ北海道	-	15,000	
2月1日	テレビ	大倉山	第37回TVh杯ジャンプ大会	テレビ北海道	-	15,000	
2月5日	テレビ	大倉山	みんなテレ	北海道文化放送	-	15,000	
2月7日	テレビ	大倉山	札幌市の観光名所の紹介	ライブプロ	-	15,000	
2月8日	写真	大倉山	HP、SNS他使用素材の撮影	雪印メグミルクスキー部	-	1,500	
2月9日	テレビ	大倉山	第66回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	北海道放送	-	15,000	
2月14日	テレビ	大倉山	HBC『キタコイ』というテレビ番組にて 魅力紹介	HBC北海道放送	-	15,000	
2月15日	テレビ	大倉山	FISジャンプワールドカップ2025札幌大会	NHK札幌放送局	-	39,720	
2月16日	テレビ	大倉山	FISジャンプワールドカップ2026札幌大会	札幌テレビ放送	-	15,000	
2月17日	写真	大倉山	カタログ用写真撮影	ミズノ	-	1,500	
2月23日	写真	大倉山	「ようこそさっぽろ」HP掲載	HKワークス	10割	0	
2月24日	テレビ	大倉山	JOURNEYS IN JAPAN	日本国際放送	-	15,000	
3月4日	写真	大倉山	葛西紀明選手取材	講談社	-	1,500	
3月30日	写真	大倉山	アイドル同行型ツアー撮影	DearLink	-	1,500	
3月31日	テレビ	大倉山	「朝だ！生です旅サラダ」撮影	ネクサス	-	15,000	
計							727,140

撮影利用料金収入合計		727,140	
内 訳	大倉山ジャンプ競技場	映画	0
		テレビ	676,140
		写真	21,000
		小計	697,140
	宮の森ジャンプ競技場	映画	0
		テレビ	30,000
		写真	0
		小計	30,000
	札幌オリンピックミュージアム	映画	0
		テレビ	0
		写真	0
		小計	0

7 大型映像車利用料金(使用料)関係

(単位:円)

利用日	行 事 名	減免割合	利用料金収入
5月31日 6月1日	令和6年度 常呂川・網走連合総合水防演習	-	729,180
6月2日	千歳JALマラソン	-	408,344
7月13日	第52回全道消防救助技術訓練指導会	-	200,610
7月19日	むらもと祭	-	213,690
8月3日 8月4日	第25回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会 大成建設チャレンジカップ2024大倉山サマージャンプ大会	10割	14,850
8月25日	北海道マラソン2024	10割	285,330
9月7日	令和6年度千歳市総合防災訓練	-	229,420
10月5日 10月6日	第49回札幌マラソン	-	44,550
10月17日	令和6年度北海道石油コンビナート等総合防災訓練	-	300,520
10月26日	第37回UHB杯ジャンプ大会	-	54,170
10月27日	第66回NHK杯ジャンプ大会	-	52,310
11月13日	冬の交通安全運動	-	63,270
12月7日	大倉山冬花火2024 supported by 武ダGEAD(自主事業)	10割	0
1月13日	第67回HBCカップジャンプ競技会	-	45,000
1月18日 1月19日	FIS女子ジャンプワールドカップ2025札幌大会	-	81,940
1月25日	第52回HTBカップ国際スキージャンプ競技大会 FISジャンプコンチネンタルカップ2025	-	62,230
1月26日	第64回STVカップ国際スキージャンプ競技大会 FISジャンプコンチネンタルカップ2025	-	54,170
2月1日	第37回TVh杯ジャンプ大会	-	54,170
2月2日	第45回札幌国際スキーマラソン大会	10割	25,410
2月8日 2月9日	第66回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	-	99,170
2月15日 2月16日	FISジャンプワールドカップ2025札幌大会	-	81,940
3月2日	第96回宮様スキー大会国際競技会	10割	5,940

3月15日	第26回伊藤杯シーズンファイナル大倉山ナイタージャンプ大会	-	27,770
-------	-------------------------------	---	--------

大型映像車利用料金収入合計		3,133,984
内 訳	場内(ジャンプ)	659,070
	場内(その他)	0
	競技場以外	2,474,914

令和6年度 集客イベント実績

① バイアスロン体験in大倉山

日本バイアスロン連盟の協力の下、冬季オリンピック採用種目であるバイアスロンの疑似体験をすることができるイベントを開催した。オリンピック出場経験のあるバイアスロン日本代表選手や日本代表コーチを含む4名が体験者にレクチャーした。

1. 内容 専用シミュレーターによるバイアスロン射撃体験
2. 期間 令和6年5月5日(日・祝)
3. 体験者数 212名 ※体験コーナーにおける体験者数カウント実績記録による

② 阿部館長によるバックヤードツアー

スキージャンプ競技の裏側の舞台を知ることができるツアー。当館館長であり、1994年リレハンメル五輪・ノルディック複合団体金メダリストの阿部雅司館長が案内し、本部棟やスタートゲートなど普段入ることのできない場所を巡った。

1. 内容 阿部館長によるスキージャンプ競技のバックヤードを巡るツアー
2. 期間 令和6年5月6日(月・祝)
3. 参加者数 39名 ※ツアー参加申込者の人数実績による

③ Red Bull 400 2024

最大斜度37度の大倉山ジャンプ台をコースとし、世界10か国以上で開催される、最も過酷なラージヒル逆走400mレース。個人フルディスタンス400m、4人で100mずつを走るリレーが行われた。当日はDJブースを積んだイベントカーや、絶品料理が堪能できるキッチンカーが出展した。

1. 内容 大倉山ジャンプ台を駆け上がるプロアマ問わず参加できる400mのタイムレース
2. 期間 令和6年5月18日(土)
3. 参加者数 1,644名 ※競技参加者の実績による

④ 2024年度オリンピック・デー記念講習会『ケガをしない体づくり&ケガからの復帰方法を学ぼう!』

1894年6月23日のIOC創立を記念して世界中のオリンピックミュージアムで行われる「オリンピック・デー」と題するイベントの1つとして、ジュニア・ユース世代のアスリートに起こりうるスポーツ障害に関する専門知識を有する講師2名を招き、スポーツ現場でのアスリートのケガを未然に防ぐために基礎知識と体づくりのため効果的な実践方法を学ぶことで、次世代アスリートの育成に繋げることを目的とした講習会を実施。

1. 内容 スポーツ障害の予防と復帰のためのトレーニングをテーマにした講習会
2. 期間 令和6年6月23日(日)
3. 参加者数 (1)シアターでの対面聴講 28名 ※参加申込者の人数実績による
(2)Youtube配信視聴 117名 ※YouTube視聴回数の実績による
計145名

⑤ 展望台リフト特別夜間営業

日本新三大夜景に認定されている札幌の夜景を大倉山山頂からも楽しんでもらおうべく、期間限定で展望台リフトの特別夜間営業を実施した。

1. 内容 大倉山展望台リフト特別夜間営業
2. 期間 令和6年7月1日(月)～令和6年9月30日(月)
3. 利用者数 7,018名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による

⑥ 山の日子どもワークショップ2024『冬スポーツ×科学』の工作・VR体験

北海道科学大学の協力の下、小学生以上を対象に木製の動くスキージャンパーを作る工作や様々な冬スポーツの歴史や道具について体験しながら学ぶことができるVRプログラムの体験イベントを実施した。

1. 内容 小学生を対象にした夏休み工作・VRワークショップ
2. 期間 令和6年8月11日(土)
3. 参加者数 178名 ※参加者数の実績による

⑦ 金メダルの輝きと金箔展

パリ1900オリンピックから金メダルの授与が始まったことから、パリ2024オリンピック開催にあわせて、阿部館長が30年前に獲得して今なおその輝きが失われない金メダルとその理由を紹介する展示会。阿部館長の金メダル修復前後の様子や、修復に使われた金箔技術を身近なアイテムに施した作品、金箔貼付作業の動画を紹介した。

1. 内容 阿部館長の金メダルとその修復に使用された金箔技術を紹介する展示会
2. 期間 令和6年8月14日(水)～8月25日(日)
3. 観覧者数 7,429名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による

⑧ フランスとオリンピックー130年のあゆみー

フランスで開催された6つのオリンピックに関する関連物品の展示やユニークなエピソードを紹介するとともに、各オリンピックで活躍した北海道出身選手を含む日本選手の活躍を伝える特別展示会を開催。各大会で活躍した選手が実際に使用した用具やウェアなどの貴重なアイテムや写真、記念グッズ、各大会の概要・ハイライトを紹介するパネルを展示した。

1. 内容 パリ2024大会を含むフランスで開催された6つのオリンピックにおけるエピソードや日本人選手の活躍を伝える特別展示会
2. 期間 令和6年10月12日(土)～令和7年1月13日(月・祝)
3. 観覧者数 23,767名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による

⑨ 「フランスとオリンピックー130年のあゆみー」展 開催記念トークショー「札幌オリンピックミュージアムに北口榛花選手がやってくる」

2024年度特別展示会を盛り上げるオープニングイベントとして、パリ2024オリンピックに道産子選手として出場し、陸上・やり投において金メダルを獲得した北口榛花氏を招いたトークショーを実施した。また、北口選手が大会で使用したユニフォームの贈呈式やメディアによる囲い込み取材も実施した。また、YouTube限定配信(JOMのみ)も行った。

1. 内容 パリ2024大会陸上・やり投金メダリストの北口榛花選手のトークショー
2. 期間 令和6年10月12日(土)
3. 観覧者数 50名 ※参加者数の実績による

⑩ 武ダGEAD Presents ビックラ!! スポフェスin大倉山

サッカー・野球・スケートボードなどの各種体験教室のほか、AR技術を利用した新しいボルダリング体験、e-sports体験など様々なスポーツの体験イベントを実施した。イベントに伴い、キッチンカーやヌーベルプースのイベント限定屋台も出展した。

1. 内容 体験型スポーツイベント
2. 期間 令和6年10月13日(日)・14日(月・祝)
3. 来場者数 令和6年10月13日(日) 1,440名 ※スタンプラリー参加人数の実績による
令和6年10月14日(月・祝) 1,728名 ※スタンプラリー参加人数の実績による
2日間計 3,168名

⑪ 大倉山冬花火2024

当社、株式会社エイチ・アイ・エス、株式会社グレートスカイアートの3社共催で音楽と花火が融合した幻想的なエンターテインメントを開催。当日は約30分間、約3,000発の花火を打ち上げた。花火打ち上げ前には、札幌オリンピックミュージアムANNEXでステージイベントや屋外でSAKEラウンジ等を行った。

1. 内容 音楽に合わせて打ち上げを行う花火大会
2. 期間 令和6年12月7日(土)
3. 観覧者数 1,761名 ※有料人員(チケット販売枚数)、無料人員(子供)、招待者の実績による

⑫ スポーツ×アート展

北海道にゆかりのある、各競技種目の先駆者的アスリート17名を肖像画により紹介する展示会を開催。肖像画は洋画家の西田陽二氏が制作し、同氏が肖像画を描く過程を収めた映像をあわせて展示。スポーツとアートを融合させた当館として初となる展示会となった。

1. 内容 各競技種目の草分けとなったアスリート17名の肖像画を展示
2. 期間 令和7年3月4日(火)～令和7年3月31日(月)
3. 観覧者数 6,074名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による